

南城市 スポーツ 推進計画



令和3年5月
南城市教育委員会

◆計画の背景と目的

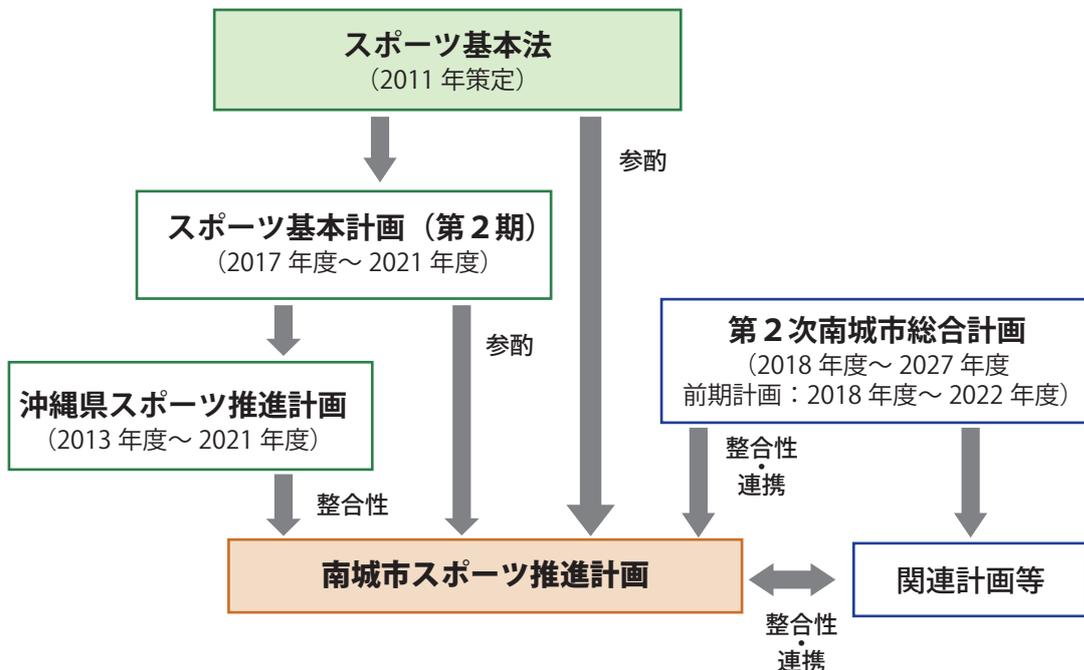
国の第2期スポーツ基本計画では「全ての人々が自発的にスポーツに取り組み自己実現を図り、スポーツの力で輝くことにより、前向きで活力ある社会と、きずなの強い世界を創る」ことを基本方針とし、スポーツで人生や社会を変え、世界とつながり未来を創ることの実現のため取り組みが行われています。

本市では沖縄県を代表するハーフマラソン大会である尚巴志ハーフマラソンのほか市民が気軽に参加できるウォーキングイベント等の開催、高齢者向けの筋力トレーニングプログラムの提供、プロアスリートチームのキャンプ等様々な取り組みが実施されています。また、地域で多世代が様々なスポーツを行うことができる総合型地域スポーツクラブの存在やサッカー協会の設立など市民を中心としたスポーツ活動も盛んに行われています。

このような現状を踏まえ、市民それぞれのライフステージに応じた生涯スポーツの定着とニーズに応じたスポーツ活動の推進により、健康で豊かな充実した暮らしの実現を目指すために『南城市スポーツ推進計画』を策定します。

◆計画の位置づけ

本計画は、国のスポーツ基本法における地方公共団体の責務及び地方スポーツ推進計画に基づくスポーツ推進を図るための計画です。また、第2次南城市総合計画及び関連計画との整合性や連携を図りつつ、南城市におけるスポーツ推進のための具体的な取り組みについて方向性を示す計画です。



◆計画期間

本計画の期間は令和3年度から令和12年度までの10年間とし、進捗状況や社会情勢の変化に対応するため必要に応じて見直しを行うものとします。

市民のライフステージに合わせた運動・スポーツの推進

目標1 子どもたちの運動・スポーツ活動の推進

- (1) 未就学児の体づくりの支援
- (2) 子どもたちの運動・スポーツの機会創出
- (3) 子どもたちのスポーツ能力の発掘と開発
- (4) 子どもたちのスポーツ活動の継続

目標2 成人の運動・スポーツ活動の推進

- (1) 日常的な運動・スポーツへの参加機会の創出
- (2) 運動・スポーツ参加機会の創出
- (3) 運動・スポーツを行うきっかけの創出

目標3 高齢者の運動・スポーツ活動の推進

- (1) 早期にかつ日常的に継続できる運動・スポーツ参加の推進
- (2) 参加しやすい運動・スポーツプログラムの提供と体制の推進

目標4 障がい者の運動・スポーツ活動の推進

- (1) 障がい者の運動・スポーツの支援
- (2) 障がい者と健常者が一緒に参加できるスポーツイベントやパラスポーツの普及

目標5 競技スポーツの活動支援

- (1) 競技スポーツを支えるための仕組みづくり
- (2) 競技スポーツ団体等への支援

運動・スポーツによる地域活性化・まちづくりの推進

目標1 総合型地域スポーツクラブの育成・支援

- (1) 既存の総合型地域スポーツクラブへの支援
- (2) 総合型地域スポーツクラブの連携とノウハウの活用

目標2 スポーツコンベンション・スポーツツーリズムの推進

- (1) スポーツキャンプ等の合宿誘致及び地域との交流促進
- (2) 青少年のスポーツ振興を目的としたスポーツキャンプ等の誘致及び交流の促進
- (3) スポーツイベントにおける地域交流の促進
- (4) 地域ブランドとしてのスポーツの活用

運動・スポーツ推進のための環境整備

目標1 体育施設の基盤整備

- (1) 体育施設の機能の整理と適切な維持管理
- (2) 誰もが利用しやすい体育施設の整備
- (3) 体育施設利用の促進

目標2 地域資源を活用したスポーツ振興

- (1) 自然資源の活用
- (2) 道路や庁舎、公共駐車場等の整備及び活用の推進
- (3) 公園を活用した運動・スポーツ機会の創出

目標3 運動・スポーツ推進のための人材育成と活用

- (1) スポーツ推進委員の育成と活用
- (2) 人材バンクの設立・運営

目標4 運動・スポーツに関する機能・組織の強化

- (1) 運動・スポーツ活動に関する情報発信
- (2) 南城市体育協会の自走化支援
- (3) スポーツによる地域コミュニティの強化

目標5 関連団体等との連携

- (1) 官民連携等民間事業者との連携
- (2) スポーツコミッションの設立・連携
- (3) 地域の関連団体との連携
- (4) 沖縄県や県関連団体との連携

◆基本理念

子どもから高齢者まですべての市民の心身の健康を維持し、スポーツを通じた人格形成や支える人の育成、コミュニティづくりや地域交流の促進等を目指し、次の理念を掲げこの理念に基づき、本市のスポーツ施策を体系的に推進します。

スポーツを通じた、健康づくり・人づくり・地域づくり

◆推進のための施策と主な取り組み

基本理念の実現に向け、それを達成するための施策と取り組みは以下の通りです。

市民のライフステージに合わせた運動・スポーツの推進

目標1 子どもたちの運動・スポーツ活動の推進

- (1) 未就学児の体作りの支援
 - ①未就学児向けの遊びを通じた運動プログラムの提供
 - ②子どもの発達に応じた遊びの重要性等を保護者へ周知
- (2) 子どもたちの運動・スポーツの機会創出
 - ①市内小中学生とアスリートとの交流機会提供
 - ②児童館、放課後児童クラブでの積極的な運動機会の提供
 - ③学校毎で実施する基礎体力の向上
 - ④子どもたちが気軽に参加できるイベントの開催
- (3) 子どもたちのスポーツ能力の発掘と開発
 - ①関連団体やスポーツ少年団、民間スポーツクラブ等との連携によるイベントの開催・運営支援
- (4) 子どもたちのスポーツ活動の継続
 - ①指導者等の確保
 - ②子どもたちのスポーツ活動への支援

目標2 成人の運動・スポーツ活動の推進

- (1) 日常的な運動・スポーツへの参加機会の創出
 - ①運動・スポーツに関する情報発信
 - ②市内体育施設利用向上のための情報発信
- (2) 運動・スポーツ参加機会の創出
 - ①既存の運動・スポーツイベントの継続
 - ②ライフスタイルに合わせた運動やスポーツイベントの提供
- (3) 運動・スポーツを行うきっかけの創出
 - ①手軽に運動やスポーツに取り組むためのきっかけの創出

目標3 高齢者の運動・スポーツ活動の推進

- (1) 早期にかつ日常的に継続できる運動・スポーツ参加の推進
 - ①高齢者が気軽に運動へ参加できる機会の提供
 - ②継続して運動に取り組むための仕組みづくり
- (2) 参加しやすい運動・スポーツプログラムの提供と体制の推進
 - ①男性も参加しやすい運動・スポーツプログラムの提供
 - ②運動・スポーツを通じた地域でのコミュニティづくりの支援

目標4 障がい者の運動・スポーツ活動の推進

- (1) 障がい者の運動やスポーツの支援
 - ①障がい者の運動・スポーツを支援する人材育成及び支援体制の構築
 - ②施設のバリアフリーや支援体制等の情報発信
- (2) 障がい者と健常者が一緒に参加できるスポーツイベントやパラスポーツの普及
 - ①障がい者と健常者が一緒に参加できるスポーツイベントの企画・運営
 - ②パラスポーツの普及啓発

目標5 競技スポーツの活動支援

- (1) 競技スポーツを支えるための仕組みづくり
 - ①スポーツ少年団、部活動のレベルアップのための指導者育成
 - ②子どもたちのスポーツ活動に対する保護者の理解や支援
 - ③競技スポーツで活躍している選手の支援
- (2) 競技スポーツ団体等への支援
 - ①競技力アップのための支援
 - ②各種競技協会への支援
 - ③必要に応じた競技スポーツへの支援

運動・スポーツによる地域活性化・まちづくりの推進

目標1 総合型地域スポーツクラブの育成・支援

- (1) 既存の総合型地域スポーツクラブへの支援
 - ① 既存総合型地域スポーツクラブの認知度向上のための情報発信やイベント開催の支援
 - ② 活動に関する経営基盤の整備支援
- (2) 総合型地域スポーツクラブの連携とノウハウの活用
 - ① 既存クラブの連携やノウハウの共有
 - ② 自治会や小学校、社会福祉協議会等と連携した活動の検討

目標2 スポーツコンベンション・スポーツツーリズムの推進

- (1) スポーツキャンプ等の合宿誘致及び地域との交流促進
 - ① 大学やその他のスポーツ合宿の誘致支援
 - ② 受け入れ体制の構築支援
- (2) 青少年のスポーツ振興を目的としたスポーツキャンプ等の誘致及び交流の促進
 - ① 子どもたちとの交流機会創出
 - ② キャンプの周知及び様々な視点での情報発信
- (3) スポーツイベントにおける地域交流の促進
 - ① 地域主体の交流イベント等への企画実施支援
 - ② 地域自治会や各種団体等のネットワークづくり
- (4) 地域ブランドとしてのスポーツの活用
 - ① スポーツによる地域ブランドの可能性の検討、モデル事業の実施
 - ② ブランド化のための推進体制の構築

運動・スポーツ推進のための環境整備

目標1 体育施設の基盤整備

- (1) 体育施設の機能の整理と適切な維持管理
 - ① 各体育施設の機能整理と再編成
 - ② 適切な維持管理の検討と環境整備
- (2) 誰もが利用しやすい体育施設の整備
 - ① 各体育施設のバリアフリー化
- (3) 体育施設利用の促進
 - ① 体育施設の運営方法の改善
 - ② 利用していない方に対する利用促進

目標2 地域資源を活用した運動・スポーツ振興

- (1) 自然資源の活用
 - ① 自然資源を活用した運動・スポーツの推進
 - ② 自然資源を活用した活動団体の支援
- (2) 道路や庁舎、公共駐車場等の整備及び活用の推進
 - ① サイクリングやウォーキングコース等の環境整備
 - ② 公共駐車場を活用した運動・スポーツの推進
 - ③ 庁舎の一部を活用した運動・スポーツの推進
- (3) 公園を活用したスポーツ機会の創出
 - ① 公園内の運動施設の運動・スポーツ利用の促進

目標3 運動・スポーツ推進のための人材育成と活用

- (1) スポーツ推進委員の育成と活用
 - ① スポーツ推進委員の知見の向上
 - ② スポーツ推進委員の活用
- (2) 人材バンクの設立・運営
 - ① 人材バンクの検討
 - ② 人材バンクの人材発掘及び運営

目標4 運動・スポーツに関する機能・組織の強化

- (1) 運動・スポーツ活動に関する情報発信
 - ① 市内スポーツ活動の情報発信
 - ② 子どもたちのスポーツ活動に関する情報発信
- (2) 南城市体育協会の自走化支援
 - ① 活動と組織体制の見直し
 - ② 協会とのより密接な連携体制の構築
- (3) スポーツによる地域コミュニティの強化
 - ① 自治会や字単位でのスポーツ活動の推進

目標5 関連団体等との連携

- (1) 官民連携等民間事業者との連携
 - ① 指定管理者やPFI事業者等との対話の場等の提供
 - ② 市民が運動やスポーツを行う機会の提供
- (2) スポーツコミッションの設立・連携
 - ① スポーツコミッションの設立
 - ② 本市の特色を生かした運動・スポーツの推進
- (3) 地域の関連団体との連携
 - ① 体育協会やスポーツ少年団、その他産業団体等団体間における連携体制の構築
 - ② 関連団体や関連産業との連携促進
- (4) 沖縄県や県関連団体との連携
 - ① 県や関連団体との情報共有
 - ② スポーツに関する事業実施の連携

◆計画の推進に向けて

マーケティングとマネジメント機能の強化

スポーツ推進計画においては、市民のスポーツに参加する機会を増やし、スポーツによる地域の活性化を推進するなど施策の効果が求められますが、そのため、現状を詳細に分析し、その結果から新たな活動に結びつけるようなマーケティング機能を強化します。また、関連する機関や団体等との連携した活動も多いことからマネジメント機能も強化します。

学校・自治会との連携

小中学生のスポーツに接する機会はそれぞれの学校が大きな割合となり、その結果も学校が把握しているため学校と情報共有など連携を行います。自治会は市民が手軽に参加できるスポーツ機会を提供する場として、またスポーツを通じたコミュニティづくりも地域活性化の効果が期待できるため継続的な連携を維持します。

沖縄県スポーツ協会との連携

沖縄県スポーツ協会は、沖縄県体育大会の開催を始め、競技力の強化、指導者育成、普及啓発、スポーツ振興に関する研究など様々な活動を行っています。本市におけるスポーツ活動を推進していくため、同協会が実施する事業に参加することだけでなく、新たな取り組みに対するアドバイスなどを含め同協会との継続的な情報交換等の連携を行います。

庁内体制と事業実施体制の構築

前述のように、スポーツ推進計画では計画期間内に数多くの取り組みを展開することを予定しています。関連課を中心に実施することとなりますが、関連する課や関係団体との情報共有等の連携が重要であるため庁内体制と事業体制を構築します。

また、本市のスポーツが行える公共施設は今後 PPP・PFI 等の導入が検討されており、従来の「誰もが利用できる」から「より多くの人々が快適に利用し満足感が得られる」施設の運営が求められています。そのため、より市民ニーズに答えることができる庁内体制を整備します。

南城市体育協会の組織強化

南城市体育協会は本市におけるスポーツ推進の中核的な役割を有し、南城市総合体育大会や小学校四種陸上記録会等を開催し、各自治会とも密接な連携を図っています。しかしながら、その組織は人材が不足し脆弱であるため、必要な機能を補強し現在実施している取り組み以外にも幅広く活動できる体制を構築します。

(仮称) 南城市スポーツコミッションの設立

本市におけるスポーツ推進は、多くの市民がスポーツに接し心身の健康維持だけでなく、地域の活性化、コミュニティづくりなど幅広い目的があります。そのため、南城市観光協会や南城市商工会を始め、民間事業者や民間のスポーツクラブなど多くの関係団体との連携やそのノウハウの活用が必要となります。それらを効率的に活用し十分な効果を引き出すため、できるだけ早期に官民一体型の専門組織である(仮称)南城市スポーツコミッションの設立・運営を目指します。

◆数値目標

●市民のライフステージに合わせた運動・スポーツの推進

指標	現状	目標 (R12)	根拠資料
全国体力・運動能力テスト結果 (合計点)	中2男女平均 48.35点 (R1)	沖縄県平均以上	全国体力・運動能力、運動習慣等調査
成人の週1回以上のスポーツ実施率	全体 66% (R2) 40代 42% (R2) 50代 45% (R2)	全体 72% 40代 47% 50代 49%	アンケート等で調査
高齢者筋力向上トレーニング事業の登録者数	656人 (R1)	754人	社会福祉協議会集計

●運動・スポーツによる地域活性化・まちづくりの推進

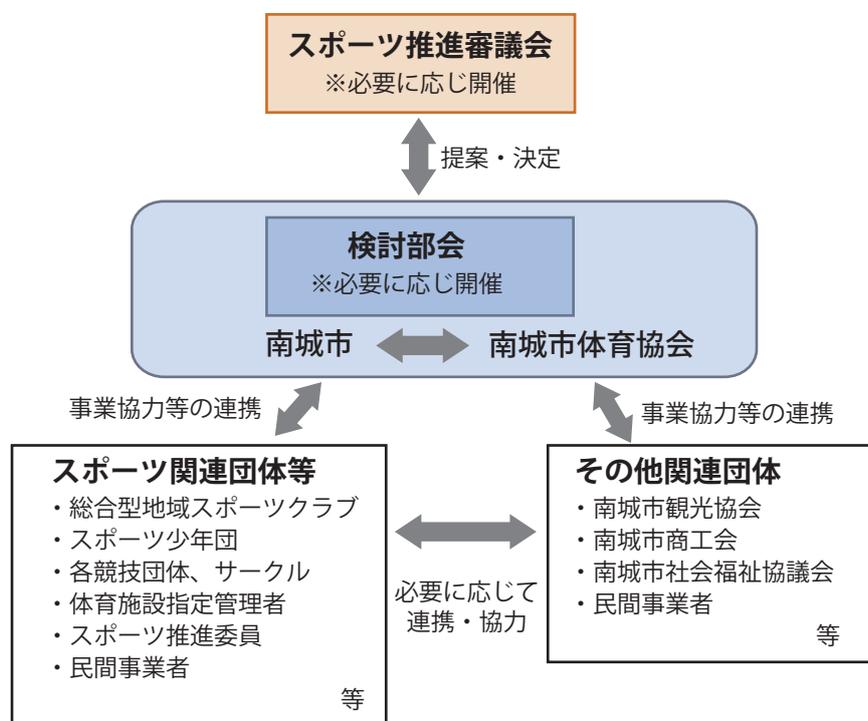
指標	現状	目標 (R12)	根拠資料
総合型地域スポーツクラブの認知度	25% (R2)	40%	アンケート等で調査
総合型地域スポーツクラブ会員数	260人 (R2)	520人	各総合型地域スポーツクラブ集計
総合型地域スポーツクラブ数	2チーム (玉城、佐敷)	4チーム (市内全地区)	担当課集計
サッカー教室等への市内子どもの参加数	約100人 (R1)	150人	担当課集計

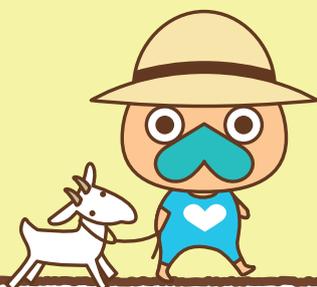
●運動・スポーツ推進のための環境整備

指標	現状	目標 (R12)	根拠資料
学校体育施設開放事業の認知度	39% (R2)	50%	アンケート等で調査
市内体育施設の稼働率 (南城市玉城総合体育館、南城市陸上競技場※のみ)	南城市玉城総合体育館 全体29.7% (R1) 南城市陸上競技場 全体21.8% (R1)	南城市玉城総合体育館 全体50% 南城市陸上競技場 全体42%	体育施設指定管理者集計
スポーツ推進委員のイベント等参加延べ人数	14人	70人	担当課集計

◆推進体制

本計画を実行するために、本市と南城市体育協会を中心に市内スポーツ関連団体や南城市観光協会等関連団体と協力・連携を図り以下の体制で推進します。また、必要に応じ検討部会や審議会を開催し取り組みの提案や見直し等を行います。





◆本計画の問い合わせ先◆

南城市教育委員会
生涯学習課

〒901-1495
沖縄県南城市佐敷字新里1870

電話 (098) 917-5369
FAX (098) 917-5436

